

## OKAME STYLE



丘女会報  
「OKAME STYLE」  
第9号  
令和5年1月発行  
編集 丘女会広報部  
TEL : 092-561-0662

## 目の前のやりたいことに全力を注いでいたら 役者になっていた

女優

しんばる みなみ

## 60回生 新原美波さん

### 高校時代に友人に誘われて 通い始めたダンススクール。 原点はダンスとの出会い

ダンスが大好きになり、高校3年間チアや、文化祭で踊ったりしていました。「浪人をしない」と決めていたので、行ける範囲で国公立の大学に進学しましたが、大学生活もダンスが中心でした。ダンスを通じて、東京、ロス、ニューヨークに行くという友人ができ、福岡以外の就職を考えたこともなかった私には、明確な夢を持ち、世界を照準にしている人たちが身近にいる、という事が衝撃的でした。自分の将来に対する見解、幅が広がった中で、とにかく日本のエンターテイメントが集まる場所、東京へと上京を決めました。ダンスが目的で、地方に支社が無い企業に東京で就職。最初はダンスを続けながら「2年で退職してダンスの仕事に就こう」と考えていました。

### ■ ダンスから女優に変わった経緯は？

就職して1年経たないうちになんとなく、ダンスは高齢になっても続けられる仕事として不可能なのではないかと思いはじめました。「本当にやりたかったことは何だろう」と考えた時、小学生の頃「声優になりたい」と思ったことを思い出しました。すぐさま「目指してみよう」と思い、声優科がある芸能事務所を受けて合格します。2年間働くと決めていましたが、事務所合格後エキストラなどのお仕事が入ったタイミングで退職。そこから芸能一本になりました。しかし、声優の勉強をしていない私はオーディ

ションに全然受からず、ダンスも大会やメディアに出ていたわけではないし、他に資格もなく、履歴書に書けることが本当に無くて。とにかく経歴の部分に何か芸能活動を書きたい！声のお仕事じゃなくてもいい！と切り替えて、片っ端から履歴書を送ってみました。そして初めて役をいただいたのが「舞台」でした。最初の舞台には大変恵まれて、「こういう方たちと一緒にお芝居ができるなら舞台もいいな」と思い、私はまた目の前に夢になりました。とりあえず「何かやってみたいな」と思ったらやってみる。これが後の私の人生を作り上げています。



『はじまりの、役者100人展』展示作品

### いろんな役を演じる上で、多様な職種の高校の同窓生が助けてくれる。 特に医学のことを聞ける同窓生が 周りにはラッキー

筑紫丘高校に進学した動機は、父も、伯父も、従兄弟2人も全員筑紫丘卒で、私が最後の受験生だったこと。筑紫丘以外の選択肢が頭の中にありませんでした。従兄弟同士の「友人が素晴らしく、それが財産になるから、ちょっと無理してでも筑紫丘に行きな」という話が心のどこかにずっと残っていて受験を決意しました。今でも、それは良かったなと思っています。起業したり、自分で新しいビジネスをやっていたり、選んだお仕事で



### <Profile>

高60回生

福岡女子大学人間環境学部生活環境学科卒業

2013年 退社後に舞台にて芸能活動をスタート。以降、舞台、ドラマなどで活動が続けている

### 《出演作》

- ・ドラマ『ドクターホワイト』第5話 - 留奈 役
- ・舞台『家庭教師ヒットマン REBORN! the STAGE -episode of FUTURE- 前編』ラル・ミルチ 役
- その他
- ・フジテレビドラマ『罟の戦争』-小鳩莉子役 (2023年1月16日～月曜日、夜10時放送)

キラキラした未来を掴もうとする友人が多いというのは、筑紫丘に行って得た財産だと思っています。特殊な職業の役をやる時は、実際に本職の人に話を聞ける機会が多いので大変助かっています。

### ■ 最新の出演作品は？

今年1月16日からフジテレビで放送される月曜日、夜10時からのドラマ「罟の戦争」に小鳩莉子役で出演します。ぜひ見ていただきたいと思います。今後はドラマと舞台があるので、その準備をしつつ、撮影や稽古をするという期間です。

### ■ 高校生へ一言

「やってみよう、とりあえず」です。なにかを経験するという事、経験値は財産です。やってみてなんか違うな、と思えば辞めればいいのです。あとは勉強です。今は何のため？と思っている勉強もあるかと思いますが、将来的に選択肢が増えます。選べる職業が増えるのは武器です。経験、勉強は財産ですし、将来の自分への投資だと思っています。ちなみに私も、新しい台本をもらうたびに勉強しますので、永遠に勉強中。医学物をやるためには医学、歴史物をするなら歴史を勉強します。今度は政治のドラマなので、政治の勉強中です。



©『家庭教師ヒットマンREBORN!』the STAGE製作委員会

## 建築物のCG化、3Dモデル制作で法人化、 強みを活かして起業 持病の「ナルコレプシー」とつきあいながら自分らしく生きる

株式会社HK STYLE 代表取締役 社長

きむら はな

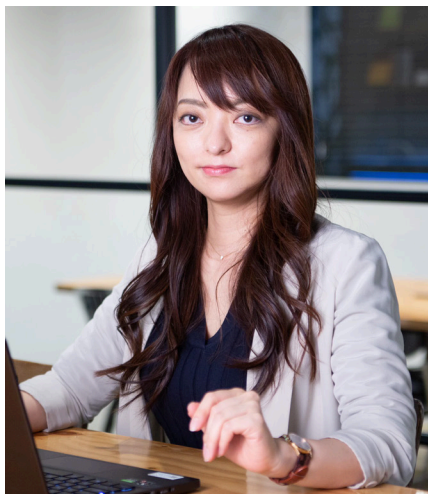
57回生 木村華さん

### ■ 今のお仕事は？

建築3Dモデリング、コンピュータで二次元の設計図を3次元の立体的なモデルデータにする仕事です。CGで完成予想の絵や動画も作ります。設計デザインから構造・設備、工事の検討、最近はVRやメタバースなどのコンテンツも作成しています。

### ■ これまでの経歴を教えてください

理系でかつデザインも学べるところがいいと思って、中京大学で工業デザインを学んで、機械設計の3DCAD(キャド)に触れていました。機械設計の道で就職するはずがリーマンショック。福岡に戻って、インテリアに興味があったのと「大学で学んだスキルを活かせれば」と建築業界に進もうと決めました。



#### < Profile >

高57回生

中京大学情報科学部メディア科学科卒業

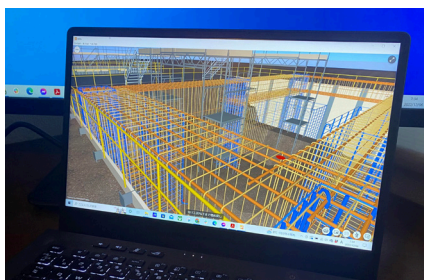
- 2009年 福岡に戻り社会人スクールで建築の基礎知識と建築CADを学ぶ
- 2010年 施工図事務所入社・3Dモデリング講座のアシスタントを経験
- 2011年 施工図×3Dモデリング専門事務所立上げに参加
- 2012年 ナルコレプシー(過眠症)の啓蒙活動開始
- 2014年 HKStyleデザインオフィスを設立。竹中工務店設計部で外部人材として3Dを担当
- 2016年 株式会社HK STYLE設立
- 2022年 BIMプロフェッショナル認証取得

業務内容: データ制作【3Dモデル(設計から施工まで対応) / BIMデータ / CGパース・CG動画 / VR・AR・MRコンテンツ / メタバースコンテンツ】・3Dソフトウェア販売代理・3Dソフト(SketchUp・Lumion) 講習

<https://www.hkstyle.co.jp/>

### パートから就職、個人事務所を経て、 独立、法人化

アルバイトをしながら、建築用のCAD(キャド)を勉強し、1年後にハローワーク経由で施工図事務所に就職しました。当時、建築業界では「BIM」という設計から施工までを3Dで管理する仕組みが入り始めたところでした。そこで出会った方々と5人で3Dモデリング専門の事務所を始めて、3年くらい3D制作やマネージャー、営業などをしました。その後、強い意志はなかったのですがいろんな縁もあり「とりあえず」と軽い気持ちで独立しました。独立してすぐ前職のときの制作物を見て、竹中工務店の設計部の方が声をかけてくれて、自分の事務所を保ちつつ外部人材として、3D担当を3年半勤めました。その間に、建築3D専門の企業数が少ないのと、さらに多くの人と一緒に仕事をしたいという思いで法人化しました。法人化して7期目、最初の独立から丸8年。社員は東京と長崎、事務所は天神と大名のシェアオフィスです。取引先は全国各地、協力スタッフも各地にいます。



施工検討のために作成した鉄筋の3Dモデル

### ■ 中学生の時に過眠症、ナルコレプシーを発症

中学校の合唱コンクールのリハーサル中、眠たくて目と口を開けるのでやっとな、という状況になって、ちょっとおかしいんじゃないかと。

### 毎日、2・3時間おきに二日徹夜した レベルの、耐えられないような睡魔 が襲ってくる

高校に入ってから授業中ずっと寝ていました。「みんな、眠いのを我慢しているんだ、すごいな」という感覚。当時は「ナルコレプシー」の情報は何もなく

て、検査も受けませんでした。大学時代にアルバイト先で、寝ながらレジを打ったり、たくさん失敗してようやく受診しました。「完全にナルコレプシーだね、辛かったね」と言われた時に、「あーそうです、辛かったんです」と「初めて分かってくれた人がいる」と。それまで本当に辛かった。ナルコレプシーは、先天性の脳の疾患で病院で検査をしたら診断されます。今は毎朝、薬を飲んで一応普通の人に近いくらいまで眠らなくて過ごせています。眠いの辛いというのは理解されにくくて、誤解を受けたり軽い悩みと見られがちです。本人も周りの人も気づきにくい症状でひとりで悩みをかかえてしまいがち。だからもし今、眠気で悩んでいたら、早めに検査を受けてほしいです。

### ナルコレプシーでも、自分の会社で 自分らしくやりたかった仕事を実現

今は、寝たいときに寝られるし、発作みたいな眠気は少なくなりましたが、上手くいっていない人のほうが大半です。高校生の頃に漠然と思っていたクオリティの高いCG映像づくりで、社長としてばりばり仕事をして「こんな人もいるよ」と、知って貰えたら患者の親御さんや不安に思っている人に勇気を持ってもらえるかな、と思っています。

### ■ これからやりたいこと

睡眠サロンみたいなのを全国に作りたい。目に見えない病気の人、日頃から睡眠がとれない人が気軽にに入って、質のいい睡眠を短時間でもとれる所をあちこちつくと、いろんなことが変わっていくんじゃないかな。

### ■ 高校生へ一言

興味あることに、とにかく挑戦してみたい。やってみないと分からないから。悩んでいるものはとりあえずやってみる。飛び出してみると、思ってもない経験ができるものです。逆に、あえて興味のなかった環境や違う価値観の人とたくさん出会うことでも自分の幅が広がります。未知な世界に飛び込み続けたおかげで自分が成長してきたと感じています。



設計図から作成した断面パース



いのち

## 生命が善き方へ向かう可能性を模索したい

公益社団法人二科会 絵画部会友 画家  
製菓衛生師

いたてやま みすず

## 45 回生 猪立山三鈴さん

遠回りをしているようだけど、  
それが自分の個性、絵作りに  
つながっている

両親が美術鑑賞やスケッチが好きだったため、子供の頃から絵画に触れていました。高校は美術部で、大学はデザインを学びに美術系に行くか、生物学系に行くかで迷いました。結果、絵はひとりでも描けるけれど、生物学は大学でないと学べないと思い、農学部を選びました。農学部は、植物や昆虫を描く授業があるんです。植物を描くのが面白い、絵を描くことが楽しいと思ったのは大学の授業で描いてからでした。就職は、種苗会社で植物の研究を続けるか、商品開発の道かの2択から、社内環境が良さそうなカバヤ食品に就職して焼菓子の新商品開発に携わりました。勤める傍ら、描いていることを知っている友人と、たまたま行った美容室のギャラリースペースで最初の個展を開催してから、絵を発表する機会が続き、少しずつ美術の仕事にシフトすることになりましたが、植物への観察力や社会人としての経験は美術を仕事にする上で役に立っています。



第105回二科展 会友賞受賞作品「極相」

## ■ 絵のお仕事のやりがい？

私はものづくりが好きで、自分の創作物で誰かが幸せになっている時、世界が良い方向に向かう助けになっていると幸せを感じます。植物の品種改良は食料問題や環境問題の解決に結びつき、お菓子の新商品開発は食べた人が幸せになるので、どちらも好きな仕事です。ただ、品種改良や商品開発は規模が大きく、自分の作った形そのままに世に出すことは難しいです。絵は、描く過程も楽しく、自分が創ったものを直接世に届けることができるのが魅力です。作品を観て、何かを感じてくださる方、涙を浮かべていらっしゃる方を見ると、絵を仕事にして良かったと感じます。

■ 二科展公募で数々の受賞  
喜びはいつからでも始められる

美大卒でも、画家に師事することもなく作品を作ってきたので、画家として一生やっていける絵づくりを学びたく、公募展である二科展への出品を始めました。会友推挙の賞を頂いた年、ある会員の先生から「人は初入選から10年でこんなに大きく成長できるのだと知れてうれしかった」と言われました。喜びと同時に、さらなる学びが必要だと感じ、2022年4月に武蔵野美術大学3年に編入しました。独学が困難な日本画を基礎から学び、美術史、版画、フレスコなど、技術と知識の幅を広げています。自分の絵の特色や魅力を客観的に知ることができ、絵を描くのがより楽しくなっています。

## ■ 今後の展開は？

展覧会や、書籍の挿絵、webなどでより多くの方に自分の絵を見てもらえる機会を増やしたいです。絵を描き続けられるように、心身ともに健やかであることを心がけています。



## &lt; Profile &gt;

高45回生

九州大学大学院生物資源環境学科(現農学研究院) 修了

- 2000年 カバヤ食品株式会社入社
- 2007年 フリーランスのイラストレーター、  
画家として活動を開始
- 2011年 第96回二科展 初入選、以降毎年入選
- 2012年 「やっぱりありがとう」挿絵  
(植木理美著、梓出版)
- 2012年 「和タロット」出版
- 2015年 「光輪タロット」挿絵  
(ラーヤ、楽天占い他)
- 2016年 「万葉びとの筑紫」挿絵  
(上野誠著、西日本新聞)
- 2017年 第102回 二科展 特選受賞
- 2019年 第104回 二科展 会友推挙受賞
- 2021年 第105回 二科展 会友賞受賞
- 2022年 武蔵野美術大学通信過程油絵学科  
日本画コース3年編入

人物、仏、花を描く画家。

伸びやかな筆致と堅実な色塗りで彩られる花や人物は「描く喜びに満ちている」と評される。個展を中心に依頼制作、ライブペインティングなど国内外で活躍。webサイト misuzie.com

## ■ 高校生に一言

私は幼少時、奈良の田舎に住んでいて、中学生の時に福岡に来ました。高校事情を知らないままコンパスで丸を書き、家から一番近い学校だった筑紫丘高校を受験しました。おかげで、面白い出会いがたくさんある高校生活を送れました。高校時代にお勧めしたいのは、なるべくいろんなことに挑戦して、リアルでも空想の中でもメタバースの中でも旅に出たりして、自分にとって好きなこと、心地よいことが何か、その逆はどんなことかを確かめてみることです。失敗してもいいと思います。楽しく過ごせるヒントがわかります。大きなことでも小さなことでも、誰かを傷つけないことであれば、人に何か言われたとしても、時勢にもひるまず、のびのびとチャレンジしてみてください。

## 「紹介してほしい人」を募集します

OKAME STYLE は年2回の発行を予定しています。今後の紙面に取り上げてほしい卒業生をご紹介します。自薦、他薦どちらでも構いません。「こんな素敵な人がいます」「この人の話が聞きたい」。多数のご推薦をお待ちしています。

広報委員長 小川訓名(高36回生)

連絡先：同窓会事務局

oka.dousoukai@gmail.com

制作ボランティアスタッフも募集しています。興味のある方は広報スタッフもしくは事務局までご連絡ください。



丘女会のシンボルマーク

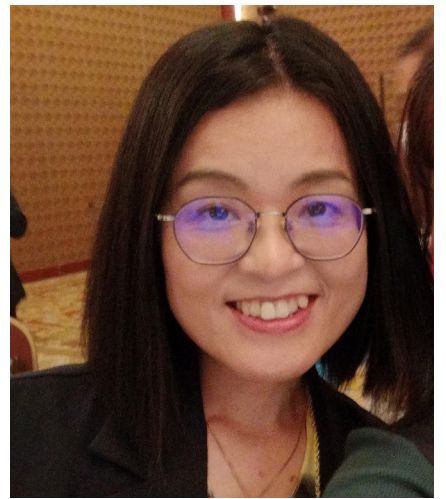
おかめ桜の花言葉は「豊かな教養、善良な教育、しとやか、理知に富んだ教育」

## 飛行機大好きな CA（客室乗務員）から弁護士へ 大切な同級生との絆

弁護士

かわち みか

39 回生 河内美香さん



### < Profile >

高39回生  
九州大学文学部哲学科地域福祉社会学  
卒業  
1991年 株式会社 日本エアシステム 入社  
1994年 株式会社 日本エアシステム 退社  
2002年 司法試験 合格  
2003年 司法研修所 入所  
(司法修習生第57期)  
2004年 福岡県弁護士会 弁護士登録  
現在 大濠総合法律事務所天神オフィス

の事務所で働いてくれるようになったのは偶然です。仕事だけでなくプライベートでも支えてもらっています。高校時代を一緒に過ごしたからでしょうか、私の片想いかもしれませんが、気持ちは通じ合っている気がします。筑紫丘でよかったです。

### ■ 高校生の皆さんへ一言

「すぐに役に立つものはすぐに役に立たなくなる」

誰の言葉かは忘れましたが、「すぐに役に立つものは、すぐに役に立たなくなる」という言葉を皆さんに伝えたいです。手っ取り早く、あるいは、楽に手に入れることができるモノは、すぐに時代遅れになり、あっという間に役に立たなくなります。人生で本当に役に立つものを習得するにははるく時間がかかります。王道を行かないと手に入らないモノは確実にあります。大事な局面で迷ったときには、しんどいほうを選んでください。今は、手軽に情報も入り、つけ焼刃の小手先の技術で何とかすることも多いのも事実です。でもそのような技術は、すぐに陳腐化します。苦労して獲得したモノ(知識、思考)は、必ず一生役に立ちますよ。

弁護士という仕事を通じて、  
誰かの力になれるかもしれない

### ■ 仕事のやりがいは？

現在、事務所の弁護士は私だけです。他人に任せられない性格なので、大変ですがやり甲斐はあります。ただ、弁護士一人でやることは限界があります。時には弁護士複数で、弁護団を組みます。例えば、金融商品関係の被害事件などには、4人から5人のチームで、場合によっては10人以上の弁護士と共同して取り組むこともあります。チームで切磋琢磨する雰囲気が好きです。弁護士という仕事は、精神的にタフではないとやれません。でも、性別に関係なくどんなところでも話を聞いてもらえるし、いろんな人といういろんな関係でつながる機会が多い。頑張れば自分の活動の幅を広げられて、「ありがとうございます」と言ってもらえる。弁護士になってよかったと思います。

### ■ 筑紫丘同級生との繋がり

今、私の事務所で事務局として働いてくださっているのは、高校の同級生の小森田さんです(旧姓栗山さん)。彼女が私



事務所で1枚。  
頼りになる相棒の小森田さん(39回生)(左)私が縁あってお世話している産業医科大学博士課程(3年)在学中の留学生さん(中央)

### ■ 弁護士になるまでの経歴を

教えてください

昔から、上下関係が厳しい‘体育会系’組織には抵抗があり、あまり馴染めませんでした。小学校の頃からテニスをしていたので、高校では硬式テニス部に入りました。部活の雰囲気は自由だったので気楽に楽しめました。九州大学に進学したのは、地元志向が強かったからです。今思えば、バブル崩壊前の良くも悪くも浮かれていた時代だったと思います。小さいころから飛行機や空港が大好きで、それで、航空会社を受験して、日本エアシステムに入社して、福岡空港をベースに3年間、国内線を飛んでいました。

### ■ 就職後「ほかのことやりたい」という 思いから、資格をとることを意識

漠然と「ほかのことやりたい」と思って、資格を取ろう、と。お恥ずかしい話ですが、私は、司法試験は法学部を卒業していないと受験することすらできないと勝手に思っていました。ところが、そうではないことを知って、どうせ受けるなら文系で一番難しい試験がいいなと思って司法試験の勉強を始めました。最初は、仕事をしながら受験予備校に通い始めました。半年くらい経って、仕事も勉強も中途半端になりそうな気がして、司法試験の勉強に専念しようと、会社を辞めました。

### ■ 司法試験受験中は？

受験予備校に通ううちに勉強仲間ができて、毎年その中から、数人が合格していくことが励みになりました。楽観的に「いつかは自分の番がくる」と思いながら、毎年落ちて、合格するまで5~6年かかりました。合格した最後の年は、毎日10時間から13時間は勉強しました。最後の1年はかなり必死でした。

### 編集 後記

- ・色んな分野でご活躍の同窓生の話聞きながら、毎回不思議なご縁を発見します。今回取材の4名中3名が日佐中学校関係だったことにもびっくりでした。(小川)
- ・無事9号をだすことができほっとしています。皆さんの話を聞くたびに「自分のキャリアを自分でデザインするとは具体的にどういうことなのか」、キャリアコンサルタントとして大変勉強になります。(太田)

【制作】丘女会広報部：小川訓名(高36)、太田由美子(高32)、米澤一江(高49) デザイン：藤田明子(高39)